



象物質の容器にはリスクアセスメント対象物質と記載されたシールを添付（図3）してもらうことで、使用時に分かりやすいよう工夫を取っている。

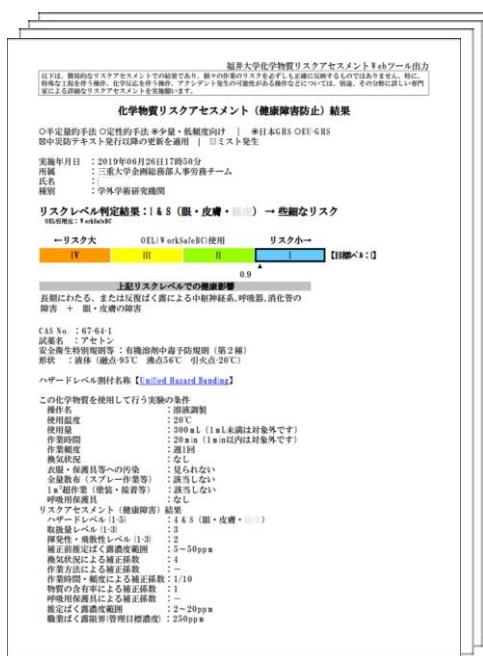


図2. リスクアセスメント結果(表紙)



図3. リスクアセスメント対象物質シールの添付

#### 4. リスクアセスメント巡視

巡視開始前に、巡視期間や日程調整方法、巡視人数等について取り決め、また巡視内容について巡視者によって違いが出ないようにメンバー間で事前確認を行った。巡視内容については、各研究室担当者より提出された対象物質リストをもとに、対象物質の本数やシール添付及び使用状況の確認とリスクレベル判定結果の掲示等の確認を行うこととした。巡視時には、使用状況の変更や新たに使用を開始した対象物質があればリストへの追加訂正と適宜リスクアセスメントツールでのリスクアセスメント実施を研究室担当者にお願いした。巡視後は、各研究室におけるリスクアセスメント実施状況を図4の巡視報告書にまとめ、安全管理担当へ報告を行った。提出した報告書をもとに安全管理担当から研究室担当者に巡視結果（不適事項があればその詳細）が通知される。不適事項があった研究室には改めて対応いただいているため、再巡視は行わず、次回以降の巡視の参考としている。

巡視報告書（化学物質のリスクアセスメント実施状況チェックリスト）					
巡視報告者	○○	△△			
巡視日時	2020年1月30分～31日(金) 13時～14時40分				
巡視場所	所属 ○○研究科○○専攻○○研究室 担当者※1 上浜 太郎 内線 ○○○○ メールアドレス ○○○○@○○○○○○○○				
チェック項目	× 1 保有している「リスクアセスメント対象物質リスト」に載せているか ○ 2 シールが貼られているか（協力をお願いする） ○ 3 「リスクアセスメント結果」及び「結果の詳細」を印刷又は電子ファイルで保存しているか △ 4 上記の結果が見やすい場所に掲示又は備え付けられているか 電子ファイルの場合は、研究室のメンバーが参照できる状態になっているか				
その他特記事項	・リスクアセスメント結果の詳細の掲示がされていなかった。 ・塗装、メタノールのリストアップ漏れがあり、シール添付とリスクアセスメントの実施及び担当事務への送付をお願いした。				

図4. 巡視報告書

#### 5. おわりに

リスクアセスメント巡視の日程調整や巡視方法など、研究室側と巡視側双方の負担が軽減されるよう、変更や改善すべき点はまだまだあるが、巡視先の研究室等の担当者には大きく協力いただけていることに感謝したい。労働安全衛生法に則り、化学物質のリスクアセスメントが適正に実施されることを目的として、安全管理担当と連携しながら今後も課題の改善等に努めていければと考えている。

#### 謝辞

本巡視業務が円滑に進むようご尽力いただいた人事労務チーム安全管理担当の皆様に、本紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。